

2024 年度 事業報告



目 次

はじめに	1
I. 評価事業	2
1. 諸基準の設定及び改定.....	2
2. 機関別認証評価	2
3. 専門職大学院認証評価.....	5
4. 分野別評価	8
II. 調査研究事業	11
1. 大学評価に関する調査研究.....	11
2. 大学評価研究所の活動.....	11
3. 文部科学省の諸審議会等への対応.....	11
4. 所蔵資料のアーカイブズ化への取組み.....	12
III. 国際化事業	13
1. 海外の質保証機関との交流等の推進.....	13
2. 共同認証	13
3. 海外への情報発信及び国際会議への参加.....	13
4. INQAAHE Conference 2025 開催準備.....	14
IV. 法人運営関連事業.....	15
1. 正会員資格判定	15
2. 広報	15
3. 本協会職員等の資質向上に向けた取組み.....	16
4. 本協会の組織体制の強化に向けた取組み.....	16
5. 事業サポートの強化.....	16
事業報告の内容を補足する重要な事項.....	17
参考資料	18

はじめに

大学基準協会（以下「本協会」という。）は、その目的を定款第3条に「内外の大学に関する調査研究を行い、会員の自主的努力と相互的援助によって、わが国における大学の質的向上を図るとともに、大学の教育研究活動等の国際的協力に貢献すること」と定めている。そして、定款第4条では、この目的を達成するために、次の事業の実施を掲げている。

- 一 大学の教育研究活動等に関する第三者評価
- 二 大学の質的向上のための大学基準等の設定及び改善並びに活用
- 三 内外の大学に関する資料の収集及び調査並びに研究
- 四 大学の教育研究活動等の改善のための助言及び援助並びに情報の提供
- 五 大学の質的向上に必要な研究会及び協議会等の開催
- 六 大学の教育研究活動等に関する国際間の情報の交換並びに協力
- 七 大学の教育研究活動等に関する資料の刊行
- 八 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

本年度は、上記の目的の下、①第三者評価事業の充実、②大学の質的向上を支援する取組の実践、③大学教育の質保証に関わる調査研究の推進、④グローバル化への対応、⑤本協会の組織の強化及び効果的・効率的運営という基本的方針を設定し、これに基づき、「Ⅰ．評価事業」「Ⅱ．調査研究事業」「Ⅲ．国際化事業」「Ⅳ．法人運営関連事業」の4事業領域に亘る事業を多角的に実施した。

I. 評価事業

評価事業については、1. 諸基準の設定及び改定、2. 機関別認証評価、3. 専門職大学院認証評価、4. 分野別評価を中心に事業を実施した。

1. 諸基準の設定及び改定

本協会は、これまで基準委員会において多くの基準を設定及び改定し、大学の質的向上につなげるべく取り組んできた。また、各種基準の設定及び改定の前提として、大学教育をめぐる諸課題の検討等も行ってきた。

こうした活動として、本年度は、まず、学習成果を基軸に据えた内部質保証の実質化に向け、各大学・短期大学の参考となる資料を基準委員会のもとで作成し、公開した。また、専門職大学院基準モデルを改定するとともに、新しい評価サイクルを迎えるグローバル法務系専門職大学院及び公衆衛生系専門職大学院について、基準を改定した。その他、大学評価研究所による「質保証における学生参画のあり方に関する調査研究」が9月末日を以て終了したことをうけ、その具体的な取り組みとしての実装を図っていくため、基準委員会に専門の小委員会を置いて検討を開始した。

2. 機関別認証評価

本協会は、教育研究活動の質を社会に対して保証し、その改善・向上を継続的に支援するとともに、大学の社会的存在理由を明らかにすることに貢献し、大学の社会に対する説明責任を支援することを目的として、大学評価及び短期大学認証評価を実施している。

(1) 認証評価

2024年度は、大学評価において37大学、短期大学認証評価において6短期大学から申請があった。各評価にあたっては、大学評価委員会及び短期大学評価委員会の下に、各分科会等を設け、書面評価及び実地調査を実施した。

評価体制

種別	委員会	設置分科会	設置数	備考
大学評価	大学評価委員会	大学評価分科会	37	
		大学財務評価分科会	1	7部会設置
		改善報告書検討分科会	1	
短期大学 認証評価	短期大学評価委員会	短期大学評価分科会	6	
		短期大学財務評価分科会	1	
		短期大学改善報告書検討分科会	1	

評価の実施に先立ち、各評価委員会において本年度の評価方針及び評価スケジュール等を確認した。その後、評価者に対する研修セミナー等をWEB会議で開催し、評価の内容・方法や遵守すべき事項などについての説明のほか、評価に臨むにあたっての留意点等に関

する講演やケーススタディを用いたグループワークを行ったうえで、各分科会により書面評価及び実地調査（現地訪問）を実施した。なお、各財務評価分科会・部会においても評価者研修を適宜実施し、書面評価を行うとともに、必要に応じて実地調査に現地訪問又はオンラインで参加した。

各分科会による評価作業が終了した後は、公正かつ妥当な評価となるよう、各委員会において慎重に議論を進め、認証評価結果（委員会案）を作成した。同委員会案は申請大学・短期大学に送付され、事実誤認に対する意見申立の経路を経た後に、各委員会で評価結果（案）を確定した。

評価スケジュール

月	内容等
4月	評価者研修セミナーの実施
6月～7月	各分科会等の開催
9月～11月	実地調査の実施
1月	各評価結果（委員会案）の作成及び申請大学・短期大学への同案提示
3月	各評価結果（委員会案）に対する大学・短期大学からの意見について採否を審議

理事会における審議の結果、以下の36大学を大学基準に、6短期大学を短期大学基準に適合していると認定した。なお、1大学については認定されなかった。

2024年度 機関別認証評価の結果（五十音順）

種別	設置形態	大学名	判定	設置形態	大学名	判定
大学評価	私立	麻布大学	適合	私立	東京医科大学	適合
	私立	追手門学院大学	適合	私立	東京家政大学	適合
	私立	神奈川歯科大学	適合	私立	東京国際大学	適合
	私立	共立女子大学	適合	私立	東北学院大学	適合
	私立	神戸学院大学	適合	私立	東洋学園大学	適合
	私立	国際基督教大学	適合	私立	長崎純心大学	適合
	私立	国際仏教学大学院大学	適合	私立	新潟産業大学	適合
	私立	事業構想大学院大学	適合	私立	日本赤十字豊田看護大学	適合
	私立	上武大学	適合	私立	日本大学	適合
	私立	昭和女子大学	適合	私立	日本福祉大学	適合
	私立	白百合女子大学	適合	私立	弘前学院大学	適合
	私立	西南学院大学	適合	私立	文星芸術大学	適合
	私立	大学院大学至善館	適合	私立	星薬科大学	不適合
	私立	中部学院大学	適合	私立	北海道医療大学	適合
	国立	筑波大学	適合	私立	北海道文教大学	適合
	私立	津田塾大学	適合	私立	明星大学	適合
	私立	鶴見大学	適合	私立	立教大学	適合
	私立	デジタルハリウッド大学	適合	私立	ルーテル学院大学	適合
	私立	東海大学	適合			

短期大学 認証評価	私立	愛知大学短期大学部	適合	公立	倉敷市立短期大学	適合
	公法	会津大学短期大学部	適合	私立	福岡女学院大学短期大学部	適合
	公立	鹿児島県立短期大学	適合	公立	三重短期大学	適合

大学基準及び短期大学基準に適合していると認定した 36 大学及び 6 短期大学には、3 月下旬にそれぞれ認証評価結果を通知するとともに、認定証及び認定マークを送付した。また、認証評価結果に関しては、文部科学大臣への報告、本協会ホームページを通じた公表を行うとともに、文部科学省記者会に対しても情報提供を行った。

このほか、短期大学認証評価では、任期満了に伴い、次期評価委員会委員の選出を行った。

（２）改善報告書の検討

本協会では、大学の改善を継続的に支援することを目的としていることから、大学評価及び短期大学認証評価を受けた大学・短期大学に対し、各評価結果において提言した「是正勧告」及び「改善課題」への対応状況・改善状況を、評価結果を受け取ってから 3 年後までに改善報告書として取りまとめて提出することを要請している。

本年度は、35 大学及び 2 短期大学から改善報告書が提出された。これをもとに、各改善報告書検討分科会において検討を行った後、各評価委員会の議論を経て「改善報告書検討結果（委員会案）」をとりまとめ、改善報告書を提出した大学及び短期大学へ送付し、事実誤認等に対する意見申立の機会を設け、検討結果の正確性を期すよう努めた。その後、理事会での審議を経て、これらの大学に「改善報告書検討結果」を通知した。

なお、検討結果については、3 月下旬に本協会ホームページにおいて全文を公表した。

（３）説明会等の取組み

本協会では、大学評価及び短期大学認証評価の申請を予定している大学・短期大学向けに、評価の概要や、自己点検・評価の実施方法等に関する説明会等を実施している。

本年度も、以下の通り、大学評価・短期大学認証評価実務説明会、スタディー・プログラム及びスタッフ派遣を実施した。

各イベント実施状況

イベント名	時期	内容等	備考
大学評価・短期大学認証評価申請予定大学・短期大学への説明	4 月	次年度以降の評価への申請を予定している大学及び短期大学を対象に、第 4 期の大学基準・短期大学基準が求める内容や内部質保証の考え方、評価の申請に向けた準備やスケジュール等を説明。	(対面) 98 名 (オンライン) 487 名
	5 月	第 4 期から新たに導入する前回の評価結果に基づく弾力的措置について、適用の要件のうち第 1 段階を満たし、2025 年度・2026 年度に次回評価を申請する可能性のある大学・短期大学を対象に、制度の趣旨・適用の留意点等を説明。	(オンライン) 38 名

事例報告会	6月	次年度評価への申請を予定している大学及び短期大学を対象に、過去に評価を受けた大学・短期大学による内部質保証の取組み等に関する事例報告を実施。	(オンライン) 大学：213名 短大：42名
大学・短期大学 スタディー・プログラム	9月 及び 12月	1回目テーマ：「教育の設計と実践から考える内部質保証」 ※講演は対面・オンラインの併用、グループワークは対面のみで実施。 2回目テーマ：「実質的な改善につながる点検・評価の考え方及び実践のためのヒント」 ※グループワークを重視し、対面のみで実施。	1回目 (対面)18名 (オンライン) 219名 2回目 (対面)38名
スタッフ派遣等	適時	将来的に評価の申請を予定もしくは検討している大学や短期大学からの要請、あるいは内部質保証について理解を深めたいという正会員大学等の求めに応じ、本協会スタッフを派遣し個別に説明。	20大学・ 団体へ派遣

3. 専門職大学院認証評価

本協会では、専門職大学院の質の保証と向上を目指して、以下の9分野の専門職大学院認証評価事業を運営している。本年度は2分野（経営、公共政策）の認証評価、5分野（経営、公共政策、公衆衛生、知的財産、広報・情報）の改善報告書の検討等（問題点への対応計画のプレゼンテーション実施を含む）、3分野（法科、経営、公衆衛生）の教育課程又は教員組織に関する重要な変更に対する評価結果への付記事項の取りまとめを行った。

- ① 法科大学院認証評価
- ② 経営系専門職大学院認証評価
- ③ 公共政策系専門職大学院認証評価
- ④ 公衆衛生系専門職大学院認証評価
- ⑤ 知的財産専門職大学院認証評価
- ⑥ グローバル・コミュニケーション系専門職大学院認証評価
- ⑦ デジタルコンテンツ系専門職大学院認証評価
- ⑧ グローバル法務系専門職大学院認証評価
- ⑨ 広報・情報系専門職大学院認証評価

(1) 認証評価

2024年度は、2分野（経営、公共政策）において計10大学院から申請があった。各評価にあたっては、分野ごとに設置している認証評価委員会の下に、各分科会を設け、書面評価及び実地調査を実施した。

評価体制

分野	委員会	設置分科会	設置数
経営	経営系専門職大学院認証評価委員会	認証評価分科会	9
公共政策	公共政策系専門職大学院認証評価委員会	認証評価分科会	1

評価の実施に先立ち、各認証評価委員会において本年度の評価方針、評価スケジュール等を確認した。その後、評価者に対する研修セミナー等をオンラインで開催し、評価の内容・方法や遵守すべき事項等について研修を行ったうえで、各分科会が書面評価及び実地調査を実施した。

各分科会による評価作業が終了した後は、公正かつ妥当な評価となるよう、各委員会において慎重に議論を進め、認証評価結果（委員会案）を作成した。同委員会案は申請大学に送付され、事実誤認等に対する意見申立の経路を経た後に、各委員会で評価結果（案）を確定した。

評価スケジュール

月	内容等
4月～5月	評価者研修セミナーの実施
7月～8月	各分科会の開催
9月～11月	実地調査の実施
12月	各評価結果（委員会案）の作成及び申請大学院への同案提示
1月～2月	各評価結果（委員会案）に対する大学院からの意見について採否を審議

理事会における審議の結果、以下の10大学院を各専門職大学院基準に適合していると認定した。

2024年度専門職大学院認証評価の結果（五十音順）

種別	設置形態	大学名	判定
経営	私立	関西学院大学大学院 経営戦略研究科経営戦略専攻	適合
	私立	相模女子大学大学院 社会起業研究科社会起業専攻	適合
	国立	東京科学大学 環境・社会理工学院技術経営専門職学位課程	適合
	国立	東京農工大学大学院 工学府産業技術専攻	適合
	私立	日本工業大学大学院 技術経営研究科技術経営専攻	適合
	国立	福井大学大学院 国際地域マネジメント研究科国際地域マネジメント専攻	適合
	私立	明治大学専門職大学院 会計専門職研究科計専門職専攻	適合
	国立	山口大学大学院 技術経営研究科技術経営専攻	適合
	私立	早稲田大学大学院 会計研究科会計専攻	適合
公共政策	国立	北海道大学大学院 公共政策学教育部公共政策学専攻	適合

各専門職大学院基準に適合していると認定した10大学院に対しては、それぞれ認証評価

結果を通知するとともに、認定証及び認定マークを送付した。また、認証評価結果に関しては、文部科学大臣への報告、本協会ホームページでの公表を行うとともに、文部科学省記者会に対しても情報提供を行った。

このほか、4分野（公衆衛生、グローバル・コミュニケーション、デジタルコンテンツ、広報・情報）では、任期満了に伴い、次期委員会委員の選出を行った。

（２）改善報告書の検討等

本協会では、専門職大学院の改善を継続的に支援するために、認証評価終了後、主として下記の２つの取組みを実施している。

第１に、本協会の専門職大学院認証評価（法科大学院認証評価を除く。）では、前年度に認証評価を受けた大学院に対して、評価結果に付された問題点に係る提言（「是正勧告」又は「勧告」及び「検討課題」）への今後の対応計画（「改善計画」及び「課題解決計画」）を求め、当該大学院と認証評価委員会との相互対話を通じて、より良い改善・改革の方策を模索することを目指している。本年度は、各委員会において、2023 年度に認証評価を実施した専門職大学院（経営：9 大学院、公共政策：1 大学院、公衆衛生：2 大学院、知的財産：1 大学院）によるプレゼンテーションが実施され、その後に質疑応答・意見交換を行った。

第２に、適合認定を受けた大学院に対して、原則として認証評価が終了してから２年が経過した後に、認証評価結果で付された問題点に係る提言事項（「是正勧告」又は「勧告」のみ。法科大学院認証は「是正勧告」及び「検討課題」）について改善報告書の提出を求め、その検討を行っている。本年度は、2021 年度に認証評価を実施した専門職大学院（広報・情報：1 大学院）から改善報告書の提出があり、認証評価委員会においてこの検討作業を行った。検討結果は、理事会の審議を経て確定した後、大学院に通知した。

なお、2020 年度に認証評価を実施した１経営系専門職大学院に関しては、適合と認定したものの、問題を十全に改善につなげるため、その改善に向けた状況を取りまとめた報告書を毎年提出するよう要請していた。本年度、当該大学院より、報告書及び関係資料の提出並びに委員会における改善計画・改善状況の報告（プレゼンテーション）があり、経営系専門職大学院認証評価委員会において検証を行った結果、さらなる向上に向けた努力を図ることが期待されるものの、次年度は当該大学院が認証評価を受ける予定であることから、次年度以降の報告は要請しないこととした。検証結果は、認証評価委員会がその案を当該大学院からの意見申立の手続を経たうえで作成し、理事会の審議を経て確定した後、当該大学院に通知するとともに、本協会ホームページを通じて公表した。

（３）教育課程又は教員組織に関する重要な変更に対する評価結果への付記事項

専門職大学院認証評価の制度下において、各認証評価機関は、評価実施後に評価対象となった大学院の教育課程又は教員組織に重要な変更があった場合、その内容を把握すると

ともに、当該大学院の意見を聴いたうえで、認証評価結果に変更点を付記するなどの措置を講じることが求められている。これを受け本協会では、専門職大学院に対し、評価実施後に重要な変更があった場合は届出を求めている。

本年度は、各専門職大学院（法科：2大学院、経営：2大学院、公衆衛生：3大学院）から本件に係る届出があり、各委員会において検討を行った。その結果については、当該大学院の意見を聴いたうえで、認証評価結果への付記事項として取りまとめ、当該大学院に通知するとともに、本協会ホームページを通じて公表した。

（４）ワークショップ等の取組み

本協会の専門職大学院認証評価では、評価以外にワークショップやシンポジウム等を開催することとしている。こうしたイベントは、当該分野の専門職大学院の活性化や、知名度の向上、優れた取組みの共有、関連業界との連携等を目的としたものである。

本年度は、経営系専門職大学院認証評価委員会の企画・運営により、「経営系専門職大学院におけるグッド・プラクティス事例に学ぶ ―2023年度認証評価結果より― 」というテーマのもと、9月にJUAA ビジネス・スクール ワークショップをオンラインで開催した。当日は約35名の参加者を得て、経営系専門職大学院の教員を招いて事例報告と質疑応答が行われた。

4. 分野別評価

本協会では、専門職大学院認証評価以外の分野別の教育評価事業として、2017年度より獣医学教育評価、2021年度より歯学教育評価を実施している。

（１）獣医学教育評価及び歯学教育評価

2024年度は、獣医学教育評価において1大学、歯学教育評価において2大学から申請があった。各評価にあたっては、分野ごとに設置している評価委員会の下に、各分科会を設け、書面評価及び実地調査を実施した。

評価体制

分野	委員会	設置分科会	設置数
獣医学	獣医学教育評価委員会	評価分科会	1
歯学	歯学教育評価委員会	評価分科会	2

評価の実施に先立ち、各評価委員会において本年度の評価方針、評価スケジュール等を確認した。その後、評価者に対する研修セミナー等をオンラインで開催し、評価の内容・方法や遵守すべき事項等について研修を行ったうえで、各分科会が書面評価及び実地調査を実施した。

各分科会による評価作業が終了した後は、公正かつ妥当な評価となるよう、各委員会に

において慎重に議論を進め、評価結果（委員会案）を作成した。同委員会案は申請大学に送付され、事実誤認等に対する意見申立の経過後に、各委員会で評価結果（案）を確定した。

評価スケジュール

月	内容等
4月～5月	評価者研修セミナーの実施
7月～8月	分科会の開催
10月～11月	実地調査の実施
12月	評価結果（委員会案）の作成及び申請大学への同案提示
2月	評価結果（委員会案）に対する大学からの意見について採否を審議

理事会における審議の結果、以下の1大学を獣医学教育に関する基準に、1大学を歯学教育に関する基準に適合していると認定した。また、歯学教育評価では、1大学を歯学教育に関する基準に適合していないと判定した。

2024年度分野別評価の結果（五十音順）

種別	設置形態	大学名	判定	備考
獣医学	私立	麻布大学 獣医学部獣医学科	適合	
歯学	私立	朝日大学 歯学部歯学科	適合	
	国立	徳島大学 歯学部歯学科	不適合	・「教員・教員組織」において、大学設置基準上必要となる専任教員数を9名、教授数を5名満たしていないという是正勧告が付されており、この是正勧告の状況から、歯学教育（学士課程）としての質に重大な問題が認められたため、歯学教育に関する基準に適合していないと判定した。 ・2026年度までのいずれかの年度に追評価を申請できる。

本協会では、それぞれ評価結果を通知するとともに、獣医学教育に関する基準に適合していると認定した1大学及び歯学教育に関する基準に適合していると認定した1大学には、認定証及び認定マークを送付した。また、評価結果に関しては、本協会ホームページを通じた公表とともに、文部科学省記者会への情報提供を行った。なお、歯学教育に関する基準に適合していないと判定した大学からの異議申立があったため、今後、異議申立審査会において、慎重に審査する予定である。

（２）改善報告書の検討

本協会では、獣医学及び歯学分野の学科又は課程の改善を継続的に支援するために、適合認定を受けた学科又は課程に対して、原則として評価が終了してから３年が経過した後に、評価結果で付された問題点に係る提言（「是正勧告」又は「勧告」及び「検討課題」）について改善報告書の提出を求め、その検討を行っている。

本年度は、獣医学教育評価及び歯学教育評価双方において、改善報告書の提出はなかった（歯学教育評価については、制度開始３年目であるため）。

Ⅱ．調査研究事業

調査研究事業については、1．大学評価に関する調査研究、2．大学評価研究所の活動、3．文部科学省の諸審議会等への対応、4．所蔵資料のアーカイブズ化への取組みを中心に事業を実施した。

1．大学評価に関する調査研究

前年度に大学評価を受けた大学に対して、「大学評価の有効性に関する調査」（アンケート調査）を行った。

イベントとしては、まず、正会員校の学長や副学長を主な対象とする学長セミナーを、10月に開催した（テーマ：「AI との共生—大学はいかに時代を創れるか—」／参加者：122名）。また、大学評価及び短期大学認証評価の委員会委員、分科会及び財務評価分科会の委員候補者を対象とする大学評価シンポジウムを、3月に実施した（テーマ：「認証評価の第4期目へのステップ—評価経験をどう活かせるか—」／参加者：281名）。

2．大学評価研究所の活動

昨年度に開始した「単位制の今日的位相と単位制の実質化に関する調査研究」及び「質保証における学生参画のあり方に関する調査研究」について、いずれも9月に終了し、調査研究の成果となる報告書を刊行するとともに本協会ホームページに公開した。

大学評価研究所によるイベントとしては、公開研究会を11月に、研究所大会を3月に実施した。公開研究会は、「大学と産業界・地域社会との連携を目指して 一人材育成を巡る現状と課題—」をテーマとした（参加者：117名）。本研究会においては、研究発表だけでなく研究発表者同士の討論や、参加者を交えた意見交換も行った。研究所大会は、「認証評価の20年と今後」と題し、大学評価研究所研究員やこの分野の有識者が発表及び討論を行った（参加者：309名）。

出版については、まず、大学評価研究所の紀要である『大学評価研究』第23号と、定期刊行物である『大学職員論叢』第13号を刊行した。いずれも一般に有料頒布するとともに、正会員及び賛助会員に送付した。なお、『大学評価研究』に関しては、2025年度に刊行する第24号の特集テーマも決定し、研究者等に対して寄稿を依頼した。また一般の投稿論文も原稿募集し3月末日で締め切った。

2024年度大学評価研究所関連刊行物一覧

名称	刊行時期
『大学評価研究』（第23号）	2024年10月
『大学職員論叢』（第13号）	2025年3月

3．文部科学省の諸審議会等への対応

2025年2月に、中央教育審議会は「我が国の『知の総和』向上の未来像～高等教育シス

テムの再構築～」を文部科学大臣に答申したが、本文書の案が提示された際には、基準委員会の意見を徴したうえで本協会としての意見をとりまとめ、文部科学省に提出した。

4. 所蔵資料のアーカイブズ化への取組み

所蔵する戦後改革期以降の資料について、多くの研究者が研究資料として活用できるよう、本協会は本年度までを事業年度としてデジタル化作業を進めてきた。本年度は、第四次法人化文書（1998 年以降の文書）の撮影とリスト・目録作りを全て終え、計画通り全作業を終了した。これと並行し、外部からの閲覧・データ提供希望にも適宜対応した。

Ⅲ. 国際化事業

国際化事業については、1. 海外の質保証機関との交流等の推進、2. 共同認証、3. 海外への情報発信及び国際会議への参加、4. INQAAHE Conference 2025 開催準備を中心に事業を実施した。

1. 海外の質保証機関との交流等の推進

連携協定に基づき、Center for Education Accreditation, Vietnam National University Ho Chi Minh City (CEA VNU-HCM) と Higher Education Evaluation and Accreditation Council of Taiwan (HEEACT) と11月に合同ウェビナーを開催した。

Taiwan Assessment and Evaluation Association (TWAEA)、Office for National Education Standards and Quality Assessment (ONESQA)、Center for Education Accreditation, Vietnam National University Ho Chi Minh City (CEA VNU-HCM) 及び Mongolian National Council for Education Accreditation (MNCEA) と協力し、日本・台湾・タイ・ベトナム・モンゴルの大学生を対象に学習満足度に関する調査を行い、「大学生学習成果と満足度調査報告書」として取りまとめ、調査協力大学に対して同報告書を送付し、本協会ホームページ（会員専用ページ）に公表した。

さらに、Center for Education Accreditation, Vietnam National University, Hanoi (VNU-CEA) と新たに協力協定を締結し、CEA VNU-HCM との協力協定を更新した。

このほか、モンゴル教育省、MNCEA や日越大学の関係者が来局し、意見交換や会員大学訪問等を行ったほか、インドネシアの質保証機関とオンラインで意見交換を行った。

2. 共同認証

7月にナコンシータマラート・ラーチャパット大学（タイ）の現地調査を実施し、評価結果を共同認証評価委員会で審議し、確定した。2025年3月に日越大学（ベトナム）の現地調査を実施した。

ベトナムでの評価活動を促進させるため、ベトナム教育訓練省に対して同国での評価機関としての申請登録資料を提出し、審査の結果2025年3月に認定された。

3. 海外への情報発信及び国際会議への参加

海外への情報発信に関して、2023年度の各評価結果の概要を取りまとめた英文資料を作成し、本協会が加盟している International Network for Quality Assurance Agencies in Higher Education (INQAAHE)、Asia-Pacific Quality Network (APQN) 及び Association of Asia-Pacific Business School (AAPBS) や MOU 締結機関に送付した。このほか大学基準及び短期大学基準等の英訳版を作成し、本協会ホームページ（英語サイト）に掲載した。

また、INQAAHE Forum 2024に参加し、職員がペーパー発表を行った。

4. INQAAHE Conference 2025 開催準備

INQAAHE Conference 2025 の主催機関として、ルーマニア・ブカレストで開催された INQAAHE Forum 2024 で PR プレゼンを行った。開催に向けて、12 月には Conference のウェブサイトを公開し、2025 年 1 月から参加登録を開始した。

IV. 法人運営関連事業

法人運営関連事業については、1. 正会員資格判定、2. 広報、3. 本協会職員等の資質向上に向けた取組み、4. 本協会の組織体制の強化に向けた取組み、5. 事業サポートの強化を中心に事業を実施した。

1. 正会員資格判定

本年度は、2 短期大学（愛知大学短期大学部、福岡女学院大学短期大学部）より正会員への加盟申請があり、理事会における審議の結果、新たに正会員への加盟を認めた。また、東京工業大学と東京医科歯科大学が統合し、2024 年 10 月から東京科学大学となったほか、桃山学院大学と桃山学院教育大学が 2025 年 4 月から統合することが決定しており、両大学から正会員資格の継続について申請を受け、それぞれ理事会で承認した。

2. 広報

本年度は、5 月、6 月及び 11 月に広報委員会を開催し、広報誌『じゅあ JUAA』の構成や大学進学セミナーの企画、ホームページや SNS のアクセス分析に基づく今後の広報活動の方針等について審議した。

また、事業や財務、会員、組織等に関する情報を取りまとめた『会報』及び広報誌『じゅあ JUAA』を刊行した（『会報』は電子媒体のみ）。いずれも本協会ホームページで公開するとともに、広報誌『じゅあ JUAA』については会員大学や関係団体に紙媒体でも発送した。

2024 年度広報関連刊行物一覧

名称	部数	刊行時期
『会報』（第 106 号）	—	2024 年 9 月
『じゅあ JUAA』（第 73 号）	34,200 部	2024 年 9 月
『じゅあ JUAA』（第 74 号）	33,400 部	2025 年 3 月

さらに、本年度もウェブメディアである note に毎月 3 本の記事を継続して掲載するとともに、各種のお知らせを公式 X に掲載するなど、情報発信に努め、フォロワー数を増やした。

加えて、昨年度に引き続き 9 月に高等学校の教員を対象とした「大学進学セミナー」をオンラインで開催し、「高校と大学を結ぶ入試で、何が起きている？ ～高大接続改革における大学入試の実態～」をテーマに、講演を行った（参加者：約 90 名）。

3. 本協会職員等の資質向上に向けた取組み

本協会職員と大学職員等（研修員¹及び元研修員）とが交流し、国内外の高等教育を取り巻く諸課題について互いに研究することを目的とした「大学職員等と大学基準協会職員との合同研修会」を9月に開催した。本年度も、昨年度に引き続き対面とオンラインによるハイブリッド形式とし、「大学の諸活動における学生参画の高まり」をテーマに、大学職員2名による事例報告、本協会職員によるアンケート調査結果の概要説明を行った後、グループディスカッションを行った（元研修員の参加者：対面18名、オンライン3名）。

その他、社会人に必要な汎用スキルを幅広く身に付けられるよう、オンライン研修サービスを利用し、必須科目と選択必須科目を合わせたカリキュラムを各職員に受講させたほか、高等教育に関する知識を身に付けるための局内研修会（2回）や、特定スキル研修（ITリテラシーに関する研修会）、他の認証評価機関との合同研修会等を実施し、本協会が求める職員像に照らした職員の育成をはかった。

4. 本協会の組織体制の強化に向けた取組み

本年度も、アクション・プランに基づき業務を遂行するとともに、年度末にはその達成状況について自己点検・評価を行った。なお、本年度は2020年度から5年間の中期目標・中期計画及びアクション・プランの最終年度にあたることから、「大学基準協会の2030年に向けたビジョン」を策定し、これに基づき、新たな中期目標・中期計画（2025年度～2029年度）を立案し、理事会において審議・決定した。

また、2022年度に受審したINQAAHEの外部評価において「勧告」又は「提案」として指摘された事項について、その改善状況をInterim Progress Reportにまとめ、自己点検・評価委員会及び常務理事会での審議を経て3月に提出した。

5. 事業サポートの強化

円滑な事業運営を支えるため、本年度も事務局職員の業務効率化や生産性向上に係る各種の環境整備に努めた。

特に、本協会建物内のネットワーク環境向上のための各種整備を進め、より安定したインターネット回線への変更やネットワーク構成の見直しを実施するとともに、LAN配線更新工事を実施し、古いLANケーブルやハブの交換及び再配線等、物理的にも整理を行った。また、業務遂行に資する機器の導入も行い、広報活動等に活用できる動画編集や画像処理性能の高いPCを導入したほか、出張や在宅勤務時の連絡等に使用するため、スマートフォンを購入し全職員に貸与した。

さらに、本協会ビルの屋上防水塗装改修工事に加え、小修繕を都度実施し、施設の適切な維持管理に努めた。

¹ 本協会では、正会員大学等に所属する職員を研修員として受け入れ、認証評価制度及び本協会の大学評価システム等について研修を行う「研修員制度」を設けている。

事業報告の内容を補足する重要な事項

2024 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しない。

2025 年 6 月

公益財団法人 大学基準協会

参考資料

2024 年度理事会・評議員会・委員会名簿

参考資料 2024年度 理事会・評議員会・委員会名簿

(2025年3月31日現在)

1. 理事会

役 名	氏 名	所 属 名
会 長	高 橋 裕 子	津 田 塾 大 学
副 会 長	堤 裕 昭	熊 本 県 立 大 学
常務理事	植 木 俊 哉	東 北 大 学
常務理事	仲 谷 善 雄	立 命 館 大 学
常務理事	藤 垣 裕 子	東 京 大 学
常務理事	矢 口 悦 子	東 洋 大 学
常務理事	工 藤 潤	大 学 基 準 協 会
理 事	石 川 正 俊	東 京 理 科 大 学
理 事	石 崎 泰 樹	群 馬 大 学
理 事	石 橋 達 朗	九 州 大 学
理 事	遠 藤 久 夫	学 習 院 大 学
理 事	加 藤 光 保	筑 波 大 学
理 事	河 合 久	中 央 大 学
理 事	熊 谷 嘉 隆	国 際 教 養 大 学
理 事	小 原 克 博	同 志 社 大 学
理 事	小 室 尚 子	金 城 学 院 大 学
理 事	竹 安 栄 子	京 都 女 子 大 学
理 事	田 中 愛 治	早 稲 田 大 学
理 事	蝶 野 成 臣	高 知 工 科 大 学
理 事	曄 道 佳 明	上 智 大 学
理 事	畑 山 浩 昭	桜 美 林 大 学
理 事	廣 瀬 克 哉	法 政 大 学
理 事	寶 金 清 博	北 海 道 大 学
理 事	森 康 俊	関 西 学 院 大 学
理 事	柳 井 雅 人	北 九 州 市 立 大 学
理 事	横 手 幸 太 郎	千 葉 大 学
理 事	和 田 隆 志	金 沢 大 学
監 事	徳 久 剛 史	元 千 葉 大 学
監 事	村 上 雅 人	元 芝 浦 工 業 大 学

2. 評議員会

役 名	氏 名	所 属 名
評 議 員	伊 藤 公 平	慶 應 義 塾 大 学
評 議 員	今 井 尚 生	西 南 学 院 大 学
評 議 員	今 井 康 之	静 岡 県 立 大 学
評 議 員	入 澤 崇	龍 谷 大 学
評 議 員	岩 切 正 一 郎	国 際 基 督 教 大 学
評 議 員	上 野 正 雄	明 治 大 学
評 議 員	江 川 隆 子	関 西 看 護 医 療 大 学
評 議 員	大 隈 暁 子	大隈暁子公認会計士事務所
評 議 員	大 澤 敏	金 沢 工 業 大 学
評 議 員	梶 井 竜 太 郎	東 海 大 学
評 議 員	加 藤 美 紀	仙 台 白 百 合 女 子 大 学
評 議 員	ロバート キサラ	南 山 大 学
評 議 員	絹 川 幸 恵	みずほビジネスパートナー株式会社
評 議 員	小手川 大 助	大分県立芸術文化短期大学
評 議 員	田 中 敏 宏	大 阪 大 学
評 議 員	寺 野 稔	北陸先端科学技術大学院大学
評 議 員	時 任 宣 博	京 都 大 学
評 議 員	中 井 伊 都 子	甲 南 大 学
評 議 員	中 村 和 彦	北 星 学 園 大 学
評 議 員	中 村 恵	神 戸 学 院 大 学
評 議 員	西 原 廉 太	立 教 大 学
評 議 員	福 井 直 昭	武 蔵 野 音 楽 大 学
評 議 員	藤 澤 正 人	神 戸 大 学
評 議 員	堀 内 成 子	聖 路 加 国 際 大 学
評 議 員	矢 野 泉	広 島 修 道 大 学
評 議 員	山 代 寛	沖 縄 大 学
評 議 員	吉 田 寿 美	東 京 都 立 上 野 高 等 学 校
評 議 員	若 林 真 一	広 島 市 立 大 学

3. 評議員選定委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員	入 澤 崇	龍 谷 大 学
委 員	矢 野 泉	広 島 修 道 大 学
委 員	若 林 真 一	広 島 市 立 大 学
委 員	徳 久 剛 史	公益財団法人大学基準協会
委 員	小 林 浩	リクルート『カレッジマネジメント』
委 員	水 谷 工	読 売 新 聞 大 阪 本 社
委 員	山 下 善 久	山 下 法 律 事 務 所

4. 顧問

役 名	氏 名	所 属 ・ 職 名
特別顧問	永 田 恭 介	筑 波 大 学 学 長
顧 問	末 松 安 晴	元 東 京 工 業 大 学 学 長
顧 問	納 谷 廣 美	元 明 治 大 学 学 長
顧 問	和 田 光 史	元 九 州 大 学 総 長

5. 基準委員会

(1) 基準委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	半 藤 英 明	熊 本 県 立 大 学
副委員長	藤 村 正 之	上 智 大 学
委 員	秋 田 恵 一	東 京 科 学 大 学
委 員	安 達 励 人	倉 敷 市 立 短 期 大 学
委 員	石 川 智 久	静 岡 県 立 大 学
委 員	石 森 久 広	西 南 学 院 大 学
委 員	大 峰 真 理	千 葉 大 学
委 員	小 名 木 明 宏	北 海 道 大 学
委 員	川 上 忠 重	法 政 大 学
委 員	小 出 和 代	東京都立東久留米総合高等学校
委 員	小 林 浩	リクルート『カレッジマネジメント』
委 員	斎 藤 聖 美	ジェイ・ボンド東短証券株式会社
委 員	杉 本 和 弘	東 北 大 学
委 員	高 田 昌 代	神 戸 市 看 護 大 学
委 員	長 畑 誠	明 治 大 学
委 員	中 村 信 次	日 本 福 祉 大 学
委 員	橋 本 洋 志	東京都立産業技術大学院大学
委 員	林 隆 敏	関 西 学 院 大 学
委 員	藤 田 晃 之	筑 波 大 学
委 員	堀 井 祐 介	大 阪 大 学
委 員	見 尾 光 庸	就 実 大 学
委 員	村 上 賢	麻 布 大 学
委 員	山 極 伸 之	佛 教 大 学
委 員	山 田 剛 史	関 西 大 学
委 員	吉 田 文	早 稲 田 大 学

(2) 専門職大学院基準モデル検討小委員会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	藤 村 博 之	労働政策研究・研修機構
委 員	小 名 木 明 宏	北 海 道 大 学
委 員	橋 本 英 樹	東 京 大 学

(3) グローバル法務系専門職大学院基準検討小委員会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	小 名 木 明 宏	北 海 道 大 学
委 員	高 橋 宏 司	同 志 社 大 学
委 員	中 島 朋 子	日本弁護士連合会西村あさひ法律事務所
委 員	八 並 廉	九 州 大 学

(4) 公衆衛生系専門職大学院基準検討小委員会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	橋 本 英 樹	東 京 大 学
委 員	浅 野 健 一 郎	一般社団法人社会的健康戦略研究所
委 員	井 上 ま り 子	帝 京 大 学
委 員	小 熊 祐 子	慶 應 義 塾 大 学
委 員	近 藤 尚 己	京 都 大 学
委 員	武 林 亨	慶 應 義 塾 大 学
委 員	藤 原 武 男	東 京 科 学 大 学

(5) 質保証における学生参画検討小委員会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	堀 井 祐 介	大 阪 大 学
委 員	榊 原 暢 久	芝 浦 工 業 大 学
委 員	武 寛 子	愛 知 東 邦 大 学
委 員	田 中 正 弘	筑 波 大 学
委 員	栃 木 哲 朗	創 価 大 学

6. 大学評価

(1) 大学評価委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	木 村 彰 方	元 東 京 医 科 歯 科 大 学
副委員長	廣 瀬 克 哉	法 政 大 学
委 員	秋 本 晃 一	日 本 女 子 大 学
委 員	猪 股 俊 光	岩 手 県 立 大 学
委 員	磐 田 朋 子	芝 浦 工 業 大 学
委 員	岩 田 誠	高 知 工 科 大 学
委 員	岩 見 雅 史	金 沢 大 学
委 員	奥 津 文 子	関 西 看 護 医 療 大 学
委 員	片 山 英 治	野 村 證 券 株 式 会 社
委 員	小 林 浩	リクルート『カレッジマネジメント』
委 員	駒 村 圭 吾	慶 應 義 塾 大 学
委 員	在 間 敬 子	京 都 産 業 大 学
委 員	佐 野 慶 子	佐 野 公 認 会 計 士 事 務 所
委 員	杉 本 和 弘	東 北 大 学
委 員	田 中 麻 里	群 馬 大 学
委 員	中 村 信 次	日 本 福 祉 大 学
委 員	半 藤 英 明	熊 本 県 立 大 学
委 員	古 川 靖 洋	関 西 学 院 大 学
委 員	水 谷 工	読 売 新 聞 大 阪 本 社
委 員	渡 邊 範 道	東 京 都 立 墨 田 川 高 等 学 校
幹 事	佐 藤 賢 一	京 都 産 業 大 学
幹 事	島 本 英 樹	大 阪 大 学
幹 事	白 川 優 治	千 葉 大 学
幹 事	高 田 英 一	神 戸 大 学
幹 事	半 田 勝 久	日 本 体 育 大 学
特別大学評価員	前 田 早 苗	公益財団法人大学基準協会

(2) 大学評価分科会

第1分科会

役名	氏名	所属名
主査	清水 重臣	東京医科歯科大学
委員	久保田 浩司	北里大学
委員	中井 睦美	大東文化大学
委員	万年 英之	神戸大学
委員	石井 義人	福岡大学

第2分科会

役名	氏名	所属名
主査	赤楚 治之	名古屋学院大学
委員	網谷 龍介	津田塾大学
委員	境 睦	桜美林大学
委員	小林 淳	熊本県立大学
委員	長谷川 順子	佛教大学

第3分科会

役名	氏名	所属名
主査	山本 健	久留米大学
委員	菊池 雄士	医療創生大学
委員	古市 保志	北海道医療大学
委員	山本 仁	東京歯科大学
委員	出口 育代	関西医科大学

第4分科会

役名	氏名	所属名
主査	立石 浩一	神戸女学院大学
委員	小室 佳文	東京医科大学
委員	花田 洋一郎	西南学院大学
委員	吉田 幸弘	広島市立大学
委員	阿部 宏	京都女子大学

第5分科会

役名	氏名	所属名
主査	杉本 和弘	東北大学
委員	飯田 伸二	鹿児島国際大学
委員	熊谷 礼子	帝塚山大学
委員	関 俊暢	城西大学
委員	杉原 明	工学院大学

第6分科会

役名	氏名	所属名
主査	上田 紀行	東京工業大学
委員	小尾 美千代	南山大学
委員	金澤 哲	京都女子大学
委員	山田 剛史	関西大学
委員	大谷 啓輔	神戸学院大学

第7分科会

役名	氏名	所属名
主査	寺尾 英智	立正大学
委員	苅米 一志	就実大学
委員	河内 利治	大東文化大学
委員	長野 美香	聖心女子大学
委員	金澤 太郎	桃山学院教育大学

第8分科会

役名	氏名	所属名
主査	後藤 宇生	北九州市立大学
委員	高橋 知也	亜細亜大学
委員	竹田 聡	愛知大学
委員	本西 泰三	関西大学
委員	近藤 隼	早稲田大学

第9分科会

役名	氏名	所属名
主査	肥塚 浩	立命館大学
委員	江本 リナ	日本赤十字看護大学
委員	勝浦 正樹	名城大学
委員	右田 孝志	久留米大学
委員	和田 裕	玉川大学(学校法人玉川学園)

第10分科会

役名	氏名	所属名
主査	椋平 淳	大阪工業大学
委員	内田 晃	北九州市立大学
委員	中村 久美	京都ノートルダム女子大学
委員	長谷川 信次	早稲田大学
委員	木下 智史	福岡女学院大学

第11分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	秋 本 晃 一	日 本 女 子 大 学
委 員	春 日 由 香	都 留 文 科 大 学
委 員	田 所 光 男	梶 山 女 学 園 大 学
委 員	吉 澤 達 也	神 奈 川 大 学
委 員	高 島 隆 平	京 都 文 教 大 学

第12分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	岡 田 幸 宏	同 志 社 大 学
委 員	椿 美 智 子	東 京 理 科 大 学
委 員	土 井 隆 義	筑 波 大 学
委 員	吉 田 広 毅	関 東 学 院 大 学
委 員	矢 野 章 広	明 治 大 学
外部 有識者	小 林 浩	リクルート『カレッジマネジメント』

第13分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	千 田 亮 吉	明 治 大 学
委 員	小 野 裕 二	名 古 屋 商 科 大 学
委 員	榊 原 暢 久	芝 浦 工 業 大 学
委 員	林 宏 昭	関 西 大 学
委 員	福 元 摩 湖	神 奈 川 大 学

第14分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	森 朋 子	桐 蔭 横 浜 大 学
委 員	松 本 す み 子	東 京 国 際 大 学
委 員	堀 江 淳	京 都 橘 大 学
委 員	山 本 憲 志	日本赤十字北海道看護大学
委 員	池 田 卓 司	大 阪 医 科 薬 科 大 学

第15分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	駒 村 圭 吾	慶 應 義 塾 大 学
委 員	カッティング 美紀	立命館アジア太平洋大学
委 員	八 鉏 友 広	東 北 大 学
委 員	若 宮 淳 志	京 都 大 学
委 員	新 山 文 洋	東 洋 大 学
幹 事	白 川 優 治	千 葉 大 学

第16分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	古 川 靖 洋	関 西 学 院 大 学
委 員	伊 藤 彰 浩	西 南 学 院 大 学
委 員	加 藤 由 香 里	東 京 工 業 大 学
委 員	日 向 良 和	都 留 文 科 大 学
委 員	佐 藤 徹	龍 谷 大 学

第17分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	小 山 内 優	創 価 大 学
委 員	庵 途 由 香	立 命 館 大 学
委 員	酒 井 敏	中 京 大 学
委 員	藤 井 一 維	日 本 歯 科 大 学
委 員	黒 田 幸 司	杏 林 大 学

第18分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	岩 田 誠	高 知 工 科 大 学
委 員	石 光 俊 介	広 島 市 立 大 学
委 員	稲 積 宏 誠	青 山 学 院 大 学
委 員	橋 本 洋 志	東京都立産業技術大学院大学
委 員	齋 藤 淳 志	相 模 女 子 大 学

第19分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	下 山 昭 夫	淑 徳 大 学
委 員	井 関 祥 子	東京医科歯科大学
委 員	坪 川 宏	東 北 福 祉 大 学
委 員	林 政 彦	福 岡 大 学
委 員	菅 原 良 将	関 西 大 学
幹 事	佐 藤 賢 一	京 都 産 業 大 学

第20分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	木 梨 達 雄	関 西 医 科 大 学
委 員	大 槻 眞 嗣	藤 田 医 科 大 学
委 員	中 山 和 久	京 都 大 学
委 員	三 国 久 美	北 海 道 医 療 大 学
委 員	栗 林 克 礼	新 潟 青 陵 大 学
幹 事	高 田 英 一	神 戸 大 学

第21分科会

役名	氏名	所属名
主査	田中 麻里	群馬大学
委員	大平 肇子	三重県立看護大学
委員	荻野 昌弘	関西学院大学
委員	中尾 浩	愛知大学
委員	谷川 悟史	京都橘大学

第22分科会

役名	氏名	所属名
主査	米山 裕	立命館アジア太平洋大学
委員	歳森 敦	筑波大学
委員	中島 裕喜	南山大学
委員	林 貴美	同志社大学
委員	渡邊 正樹	中央大学

第23分科会

役名	氏名	所属名
主査	平栗 健二	東京電機大学
委員	岡 照二	関西大学
委員	金津 和美	同志社大学
委員	姜 文源	福岡大学
委員	滝口 宣明	関東学院大学

第24分科会

役名	氏名	所属名
主査	中村 信次	日本福祉大学
委員	倉持 祐二	京都橘大学
委員	高橋 裕子	天理大学
委員	吉留 久晴	鹿児島国際大学
委員	大寺 将史	関西学院大学

第25分科会

役名	氏名	所属名
主査	向井 秀忠	フェリス学院大学
委員	阪本 崇	京都橘大学
委員	古屋 健	立正大学
委員	松田 京子	南山大学
委員	水野 嘉文	実践女子大学

第26分科会

役名	氏名	所属名
主査	磐田 朋子	芝浦工業大学
委員	筒井 琢磨	皇學館大学
委員	富澤 拓志	大阪産業大学
委員	望月 信幸	熊本県立大学
委員	岡本 浩志	京都産業大学
幹事	島本 英樹	大阪大学

第27分科会

役名	氏名	所属名
主査	奥津 文子	関西看護医療大学
委員	伊関 峰生	東邦大学
委員	大嶋 巖	東北福祉大学
委員	小川 久貴子	東京女子医科大学
委員	山口 芳江	法政大学

第28分科会

役名	氏名	所属名
主査	岩見 雅史	金沢大学
委員	鶴田 直之	福岡大学
委員	堀江 正知	産業医科大学
委員	佐藤 雅美	神戸学院大学
委員	鶴田 弘樹	名城大学
幹事	半田 勝久	日本体育大学

第29分科会

役名	氏名	所属名
主査	関口 理久子	関西大学
委員	後藤 昌弘	藍野大学
委員	鈴木 力雄	岩手県立大学
委員	松中 義大	東京工芸大学
委員	岡花 直人	高知工科大学

第30分科会

役名	氏名	所属名
主査	半藤 英明	熊本県立大学
委員	奥 聡一郎	関東学院大学
委員	小林 潤一郎	明治学院大学
委員	本庄 恵子	日本赤十字看護大学
委員	斎藤 宏充	同志社女子大学

第31分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	山 極 伸 之	佛 教 大 学
委 員	池 上 公 平	共 立 女 子 大 学
委 員	砂 本 文 彦	神 戸 女 子 大 学
委 員	田 川 由 美 子	大 阪 産 業 大 学
委 員	梅 本 勝 敏	桜 美 林 大 学

第32分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	杉 原 多 公 通	新 潟 薬 科 大 学
委 員	大 江 洋 平	同 志 社 大 学
委 員	日 比 谷 信	藤 田 医 科 大 学
委 員	吉 成 浩 一	静 岡 県 立 大 学
委 員	植 松 美 知 男	東 京 慈 恵 会 医 科 大 学

第33分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	江 川 徹	北 里 大 学
委 員	小 林 公 子	静 岡 県 立 大 学
委 員	福 井 勉	文 京 学 院 大 学
委 員	渡 邊 典 子	新 潟 青 陵 大 学
委 員	藤 田 由 典	関 西 大 学

第 34 分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	半 谷 俊 彦	和 光 大 学
委 員	岡 田 佐 織	東 京 工 業 大 学
委 員	藤 原 瑞 穂	神 戸 学 院 大 学
委 員	古 相 正 美	中 村 学 園 大 学
委 員	中 村 義	青 山 学 院 大 学
外部 有識者	渡 邊 範 道	東 京 都 立 墨 田 川 高 等 学 校

第35分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	猪 股 俊 光	岩 手 県 立 大 学
委 員	石 原 康 利	明 治 大 学
委 員	上 村 佳 世 子	文 京 学 院 大 学
委 員	角 井 正 幸	同 志 社 大 学
委 員	芝 田 政 之	東 京 工 業 大 学

第36分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	在 間 敬 子	京 都 産 業 大 学
委 員	伊 川 正 樹	名 城 大 学
委 員	松 原 行 宏	広 島 市 立 大 学
委 員	宮 田 由 紀 夫	関 西 学 院 大 学
委 員	安 武 隆 明	福 岡 大 学

第37分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	岡 田 龍 樹	天 理 大 学
委 員	田 中 利 光	敬 和 学 園 大 学
委 員	西 田 充 潔	北 星 学 園 大 学
委 員	蒲 池 み ゆ き	工 学 院 大 学
委 員	岡 澤 順	淑 徳 大 学

(3) 大学財務評価分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	梅 田 守 彦	中 京 大 学
委 員	真 井 誠	立 正 大 学
委 員	佐 野 慶 子	佐 野 公 認 会 計 士 事 務 所
委 員	田 川 博 士	中 央 大 学
委 員	徳 田 守	金 沢 工 業 大 学
委 員	豊 田 耕 三	立 命 館 大 学
委 員	春 川 孝 行	慶 応 義 塾 大 学
委 員	平 井 雪 恵	立 教 大 学
委 員	福 田 直 史	高 知 県 公 立 大 学 法 人
委 員	松 本 香	公 認 会 計 士 松 本 香 事 務 所

大学財務評価分科会 国・公立大学部会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	福 田 直 史	高 知 県 公 立 大 学 法 人
委 員	山 西 佑 季	熊 本 県 立 大 学

大学財務評価分科会 私立大学部会

第1部会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	徳 田 守	金 沢 工 業 大 学
委 員	川 住 康 志	関 西 医 科 大 学
委 員	谷 口 剛	福 岡 大 学
委 員	高 橋 浩 昭	獨 協 大 学

第2部会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	春 川 孝 行	慶 應 義 塾 大 学
委 員	鈴 木 邦 仁	北 海 道 医 療 大 学
委 員	坂 本 康 浩	関 西 大 学
委 員	増 田 貴 治	名 城 大 学

第3部会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	豊 田 耕 三	立 命 館 大 学
委 員	大 谷 は る み	公 認 会 計 士
委 員	児 玉 和 典	南 山 大 学
委 員	宮 島 純	東 京 理 科 大 学

第4部会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	真 井 誠	立 正 大 学
委 員	清 水 大 輔	早 稲 田 大 学
委 員	竹 田 浩 康	梶 山 女 学 園 大 学
委 員	望 月 肇	日 本 工 業 大 学

第5部会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	平 井 雪 恵	立 教 大 学
委 員	池 田 純 一	成 城 大 学
委 員	玉 田 健 二	武 庫 川 女 子 大 学
委 員	野 村 浩	東 洋 大 学

第6部会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	田 川 博 士	中 央 大 学
委 員	大 驛 也	津 田 塾 大 学
委 員	斉 藤 和 郎	札 幌 学 院 大 学
委 員	寺 脇 誉 裕	関 西 学 院 大 学

(4) 改善報告書検討分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	野 澤 康	工 学 院 大 学
委 員	伊 地 知 寛 博	成 城 大 学
委 員	佐 藤 修 一 郎	中 央 大 学
委 員	佐 野 幸 子	福 岡 女 学 院 大 学
委 員	瀬 戸 奈 津 子	関 西 医 科 大 学
委 員	種 市 洋	獨協医科大学（学校法人獨協学園）
委 員	宮 下 毅	文 教 大 学
委 員	吉 田 竹 也	南 山 大 学
委 員	岡 部 雅 人	岡 部 公 認 会 計 士 事 務 所
委 員	山 口 数 宏	同 志 社 大 学

7. 短期大学認証評価

(1) 短期大学評価委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	安 達 励 人	倉 敷 市 立 短 期 大 学
副委員長	龍 昌 治	愛 知 大 学 短 期 大 学 部
委 員	安 齋 和 男	岩手県ふるさと振興部学事振興課
委 員	飯 干 明	鹿 児 島 県 立 短 期 大 学
委 員	神 田 裕 子	株 式 会 社 進 研 ア ド
委 員	鈴 木 滋 彦	静岡県立農林環境専門職大学短期大学部
委 員	並 木 俊 恭	神奈川県立希望ヶ丘高等学校
委 員	三 浦 秀 松	武庫川女子大学短期大学部
委 員	藪 中 征 代	聖 徳 大 学 短 期 大 学 部
委 員	吉 山 尚 裕	大分県立芸術文化短期大学

(2) 短期大学評価分科会

第1分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	三 浦 秀 松	武庫川女子大学短期大学部
委 員	川 崎 雅 志	岩手県立大学盛岡短期大学部
委 員	蓑 輪 裕 子	聖 徳 大 学 短 期 大 学 部
委 員	高 橋 千 恵 子	鳥 取 短 期 大 学

第2分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	鈴 木 滋 彦	静岡県立農林環境専門職大学短期大学部
委 員	入 江 啓 彰	近 畿 大 学 短 期 大 学 部
委 員	道 家 晶 子	岐 阜 市 立 女 子 短 期 大 学
委 員	室 屋 裕 樹	藍 野 大 学

第3分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	白 幡 晶	城 西 短 期 大 学
委 員	荻 野 哉	大分県立芸術文化短期大学
委 員	中 路 喜 之	大 月 短 期 大 学
委 員	大 川 貴 光	中村学園大学短期大学部
外部有識者	神 田 裕 子	株 式 会 社 進 研 ア ド

第4分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	野 口 聡 子	龍 谷 大 学 短 期 大 学 部
委 員	大 志 田 憲	岩手県立大学宮古短期大学部
委 員	堀 井 祐 介	大 阪 大 学
委 員	神 崎 大 介	大分県立芸術文化短期大学

第5分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	龍 昌 治	愛 知 大 学 短 期 大 学 部
委 員	青 木 淳 英	鳥 取 短 期 大 学
委 員	疇 谷 憲 洋	大分県立芸術文化短期大学
委 員	梅 岡 和 朗	龍 谷 大 学 短 期 大 学 部

第6分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	眞 次 浩 司	倉 敷 市 立 短 期 大 学
委 員	楨 平 龍 宏	大月市立大月短期大学
委 員	多 田 司	鹿 児 島 県 立 短 期 大 学
委 員	本 橋 明 彦	相 模 女 子 大 学

(3) 短期大学財務評価分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	大 橋 良 生	滋 賀 大 学
委 員	稲 澤 基	筑 波 大 学
委 員	大 日 方 清 剛	学 校 法 人 上 智 学 院
委 員	永 岩 尊 暢	大 月 短 期 大 学

(4) 短期大学改善報告書検討分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	安 達 励 人	倉 敷 市 立 短 期 大 学
委 員	藪 中 征 代	聖 徳 大 学 短 期 大 学 部
委 員	柳 沢 幸 治	大 月 短 期 大 学

8. 法務系専門職大学院認証評価

(1) 法務系専門職大学院認証評価委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	小 名 木 明 宏	北 海 道 大 学
副委員長	徳 本 穰	九 州 大 学
委 員	青 野 博 晃	日 本 弁 護 士 連 合 会
委 員	石 岡 克 俊	慶 應 義 塾 大 学
委 員	内 田 義 厚	早 稲 田 大 学
委 員	岡 田 俊 幸	日 本 大 学
委 員	佐 川 友 佳 子	関 西 大 学
委 員	高 山 寧	野村不動産ホールディングス株式会社
委 員	直 井 義 典	筑 波 大 学
委 員	本 庄 武	一 橋 大 学
委 員	本 多 俊 雄	京 都 大 学
委 員	三 輪 方 大	司 法 研 修 所
委 員	村 井 正 美	読 売 新 聞 東 京 本 社
委 員	山 口 温 子	上 田 廣 一 法 律 事 務 所

9. 経営系専門職大学院認証評価

(1) 経営系専門職大学院認証評価委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	高 田 仁	九 州 大 学
副委員長	横 山 研 治	名 古 屋 商 科 大 学
委 員	青 木 英 彦	東 京 理 科 大 学
委 員	市 川 英 次	湘南ヤクルト販売株式会社
委 員	井 上 福 子	同 志 社 大 学
委 員	猪 口 純 路	小 樽 商 科 大 学
委 員	太 田 康 広	慶 應 義 塾 大 学
委 員	瓦 田 沙 季	兵 庫 県 立 大 学
委 員	久 保 淳 司	北 海 道 大 学
委 員	斎 藤 聖 美	ジェイ・ボンド東短証券株式会社
委 員	佐 藤 智 恵	伊 藤 忠 エ ネ ク ス 株 式 会 社
委 員	澤 路 毅 彦	朝 日 新 聞 東 京 本 社
委 員	高 田 朝 子	法 政 大 学
委 員	西 中 美 和	香 川 大 学
委 員	林 田 英 樹	東 京 農 工 大 学
委 員	東 出 浩 教	早 稲 田 大 学
委 員	藤 森 義 明	CVC アジア・パシフィック ジ ャ パ ン 株 式 会 社
委 員	松 永 裕 己	北 九 州 市 立 大 学
委 員	真 野 俊 樹	中 央 大 学
委 員	吉 村 典 久	関 西 学 院 大 学

(2) 経営系専門職大学院認証評価分科会

第1分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	東 出 浩 教	早 稲 田 大 学
委 員	大 室 悦 賀	長 野 県 立 大 学
委 員	飛 田 正 之	福 井 県 立 大 学
委 員	向 伊 知 郎	愛 知 学 院 大 学

第2分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	真 野 俊 樹	中 央 大 学
委 員	岩 田 浩	龍 谷 大 学
委 員	山 口 夕 妃 子	佐 賀 大 学
委 員	山 村 能 郎	明 治 大 学

第3分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	太 田 康 広	慶 應 義 塾 大 学
委 員	豊 田 裕 貴	法 政 大 学
委 員	馬 場 杉 夫	専 修 大 学
委 員	福 代 和 宏	山 口 大 学

第4分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	高 田 朝 子	法 政 大 学
委 員	佐 藤 祐 司	中 京 大 学
委 員	松 田 憲	北 九 州 市 立 大 学
委 員	村 上 敏 也	金 沢 工 業 大 学

第5分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	林 田 英 樹	東 京 農 工 大 学
委 員	王 京 穂	明 治 大 学
委 員	小 野 善 生	滋 賀 大 学
委 員	林 聖 子	亜 細 亜 大 学

第6分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	松 永 裕 己	北 九 州 市 立 大 学
委 員	網 倉 久 永	上 智 大 学
委 員	丹 下 英 明	法 政 大 学
委 員	西 村 友 幸	小 樽 商 科 大 学

第7分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	瓦 田 沙 季	兵 庫 県 立 大 学
委 員	栗 木 契	神 戸 大 学
委 員	武 石 彰	学 習 院 大 学
委 員	野 瀬 義 明	同 志 社 大 学

第8分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	井 上 福 子	同 志 社 大 学
委 員	荒 川 一 彦	関 東 学 院 大 学
委 員	笹 原 弘 之	東 京 農 工 大 学
委 員	三 輪 加 奈	長 崎 大 学

第9分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	久 保 淳 司	北 海 道 大 学
委 員	折 橋 伸 哉	東 北 学 院 大 学
委 員	中 村 博 之	横 浜 国 立 大 学
委 員	西 中 美 和	香 川 大 学

10. 公共政策系専門職大学院認証評価

(1) 公共政策系専門職大学院認証評価委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	長 畑 誠	明 治 大 学
副委員長	秋 山 信 将	一 橋 大 学
委 員	浅 野 宜 之	関 西 大 学
委 員	荒 井 仁 志	人 事 院 人 材 局
委 員	小 川 忠	跡 見 学 園 女 子 大 学
委 員	上 子 秋 生	立 命 館 大 学
委 員	川 口 大 司	東 京 大 学
委 員	曾 我 謙 悟	京 都 大 学
委 員	田 中 彰	東 京 都 人 事 委 員 会
委 員	西 岡 晋	東 北 大 学
委 員	深 尾 昌 峰	龍 谷 大 学
委 員	山 崎 幹 根	北 海 道 大 学

(2) 公共政策系専門職大学院認証評価分科会

第1分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	西 岡 晋	東 北 大 学
委 員	浅 野 宜 之	関 西 大 学
委 員	上 子 秋 生	立 命 館 大 学
委 員	曾 我 謙 悟	京 都 大 学

11. 公衆衛生系専門職大学院認証評価

(1) 公衆衛生系専門職大学院認証評価委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	橋 本 英 樹	東 京 大 学
副委員長	武 林 亨	慶 應 義 塾 大 学
委 員	飯 野 奈 津 子	(ジャ ー ナ リ ス ト)
委 員	石 川 ひ ろ の	帝 京 大 学
委 員	今 中 雄 一	京 都 大 学
委 員	土 野 久 憲	元コニカ ミノルタ ジャパン株式会社 ヘル ス ケ ア カ ン パ ニ ー
委 員	堤 明 純	北 里 大 学
委 員	西 信 雄	聖 路 加 国 際 大 学
委 員	馬 場 英 司	九 州 大 学
委 員	前 田 秀 雄	公益財団法人結核予防会
委 員	前 田 光 哉	環 境 省
委 員	我 妻 ゆ き 子	筑 波 大 学
幹 事	中 村 桂 子	東 京 科 学 大 学

12. 知的財産専門職大学院認証評価

(1) 知的財産専門職大学院認証評価委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	早 乙 女 周 子	京 都 大 学
副委員長	杉 村 純 子	日 本 弁 理 士 会
委 員	上 野 達 弘	早 稲 田 大 学
委 員	杉 浦 宣 彦	中 央 大 学
委 員	住 田 孝 之	(元) 内閣府知的財産戦略推進事務局、 住友商事グローバルリサーチ(株)
委 員	仙 石 慎 太 郎	東 京 科 学 大 学
委 員	竹 野 晃	日 本 知 的 財 産 協 会
委 員	村 田 真 一	日 弁 連 知 的 財 産 セ ン タ ー 第 二 東 京 弁 護 士 会
委 員	元 橋 一 之	東 京 大 学
委 員	山 名 美 加	関 西 大 学

13. グローバル・コミュニケーション系専門職大学院認証評価

(1) グローバル・コミュニケーション系専門職大学院認証評価委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	舘 岡 洋 子	早 稲 田 大 学
副委員長	音 好 宏	上 智 大 学
委 員	五 十 嵐 浩 司	元 大 妻 女 子 大 学
委 員	小 澤 伊 久 美	国 際 基 督 教 大 学
委 員	渡 辺 敦 子	文 教 大 学
委 員	渡 辺 茂 晃	株 式 会 社 日 経 HR

14. デジタルコンテンツ系専門職大学院認証評価

(1) デジタルコンテンツ系専門職大学院認証評価委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	金 大 雄	九 州 大 学
副委員長	岩 崎 達 也	関 東 学 院 大 学
委 員	飯 塚 久 夫	一般社団法人量子ICTフォーラム
委 員	酒 井 聡	東 北 芸 術 工 科 大 学
委 員	豊 田 裕 貴	法 政 大 学
委 員	三 末 和 男	筑 波 大 学

15. 広報・情報系専門職大学院認証評価

(1) 広報・情報系専門職大学院認証評価委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	伊 藤 直 哉	北 海 道 大 学
副委員長	河 井 孝 仁	東 海 大 学
委 員	宇 賀 神 貴 宏	株 式 会 社 ADK マーケティング・ソリューションズ
委 員	音 好 宏	上 智 大 学
委 員	難 波 功 士	関 西 学 院 大 学
委 員	藤 本 勝 也	公益社団法人日本広報協会

16. 獣医学教育評価

(1) 獣医学教育評価委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	村 上 賢	麻 布 大 学
副委員長	滝 口 満 喜	北 海 道 大 学
委 員	内 田 和 幸	東 京 大 学
委 員	奥 野 敦 史	株式会社メディプロデュース
委 員	酒 井 健 夫	日 本 獣 医 師 会
委 員	志 水 泰 武	岐 阜 大 学
委 員	鈴 木 一 由	酪 農 学 園 大 学
委 員	三 角 一 浩	鹿 児 島 大 学
委 員	山 崎 伸 二	大 阪 公 立 大 学
委 員	山 脇 英 之	北 里 大 学
幹 事	中 山 裕 之	動物医療センター Peco 獣医療 研 究 所、元 東 京 大 学

(2) 獣医学教育評価分科会

第1分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	三 角 一 浩	鹿 児 島 大 学
委 員	オブライエン 悠木子	東 京 農 工 大 学
委 員	松 本 浩 毅	日 本 獣 医 生 命 科 学 大 学
委 員	山 脇 英 之	北 里 大 学

17. 歯学教育評価

(1) 歯学教育評価委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	西 原 達 次	元 九 州 歯 科 大 学
副委員長	羽 村 章	日 本 歯 科 大 学
委 員	一 戸 達 也	東 京 歯 科 大 学
委 員	近 藤 尚 知	愛 知 学 院 大 学
委 員	末 瀬 一 彦	日 本 歯 科 医 師 会
委 員	高 橋 信 博	東 北 大 学
委 員	田 口 則 宏	鹿 児 島 大 学
委 員	長 島 正	大 阪 大 学
委 員	山 本 一 世	大 阪 歯 科 大 学
委 員	横 江 浩 司	日 本 歯 科 企 業 協 議 会
幹 事	荒 木 孝 二	元 東 京 科 学 大 学 (旧 東 京 医 科 歯 科 大 学)
オブザーバー	大 坪 真 実	厚 生 労 働 省
オブザーバー	竹 本 浩 伸	文 部 科 学 省

(2) 歯学教育評価分科会

第1分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	田 口 則 宏	鹿 児 島 大 学
委 員	佐 藤 聡	日 本 歯 科 大 学 (新潟生命歯学部)
委 員	谷 本 幸 太 郎	広 島 大 学
委 員	上 田 賢	日 本 歯 科 医 師 会

第2分科会

役 名	氏 名	所 属 名
主 査	山 本 一 世	大 阪 歯 科 大 学
委 員	岡 田 明 子	日 本 大 学 (歯 学 部)
委 員	築 山 能 大	九 州 大 学
委 員	西 岡 政 道	日 本 歯 科 医 師 会

18. 異議申立審査会

役 名	氏 名	所 属 名
審 査 長	松 尾 太 加 志	北 九 州 市 立 大 学
委 員	圓 月 勝 博	同 志 社 大 学
委 員	島 岡 清 美	弁 護 士 法 人 ラ イ ズ 綜 合 法 律 事 務 所
委 員	中 根 正 義	芝 浦 工 業 大 学 柏 中 学 高 等 学 校
委 員	吉 川 尚 宏	A . T . カ ー ニ ー 株 式 会 社

19. 大学評価研究所

(1) 大学評価研究所

役 名	氏 名	所 属 名
所 長	植 木 俊 哉	東 北 大 学
一般研究員	江 原 昭 博	関 西 学 院 大 学
一般研究員	大 森 不 二 雄	東 北 大 学
一般研究員	金 子 元 久	筑 波 大 学
一般研究員	川 嶋 太 津 夫	大 阪 大 学
一般研究員	雑 賀 高	工 学 院 大 学
一般研究員	高 田 英 一	神 戸 大 学
一般研究員	鳥 居 朋 子	立 命 館 大 学
一般研究員	深 堀 聰 子	九 州 大 学
一般研究員	村 澤 昌 崇	広 島 大 学
一般研究員	森 朋 子	桐 蔭 横 浜 大 学
一般研究員	両 角 亜 希 子	東 京 大 学
一般研究員	山 田 礼 子	同 志 社 大 学
特任研究員	小 田 格	中 央 大 学
特任研究員	川 上 忠 重	法 政 大 学
特任研究員	斎 藤 有 吾	新 潟 大 学
特任研究員	白 川 優 治	千 葉 大 学
特任研究員	杉 本 義 行	成 城 大 学
特任研究員	鈴 木 典 比 古	広 島 県 公 立 大 学 法 人
特任研究員	生 和 秀 敏	元 広 島 大 学
特任研究員	長 畑 誠	明 治 大 学
特任研究員	夏 目 達 也	桜 美 林 大 学
特任研究員	早 田 幸 政	元 中 央 大 学
特任研究員	深 澤 晶 久	実 践 女 子 大 学
特任研究員	堀 井 祐 介	大 阪 大 学

特任研究員	劉 文 君	東 洋 大 学
特任研究員	山 極 伸 之	佛 教 大 学
特任研究員	山 本 眞 一	元筑波大学、元広島大学、 元桜美林大、学
特任研究員	工 藤 潤	大 学 基 準 協 会
特任研究員	田 代 守	大 学 基 準 協 会
特任研究員	原 和 世	大 学 基 準 協 会
特任研究員	前 田 早 苗	大 学 基 準 協 会
特任研究員	松 坂 顕 範	大 学 基 準 協 会
客員研究員	浅 井 美 紀	大 学 基 準 協 会

(2) 大学評価研究所運営会議

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	植 木 俊 哉	東 北 大 学
委 員	大 森 不 二 雄	東 北 大 学
委 員	金 子 元 久	筑 波 大 学
委 員	工 藤 潤	大 学 基 準 協 会
委 員	田 代 守	大 学 基 準 協 会
委 員	早 田 幸 政	元 中 央 大 学
委 員	原 和 世	大 学 基 準 協 会
委 員	両 角 亜 希 子	東 京 大 学
委 員	山 田 礼 子	同 志 社 大 学
委 員	山 本 眞 一	元筑波大学、元広島大学、 元桜美林大、学

(3) 『大学評価研究』編集委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	藤 垣 裕 子	東 京 大 学
委 員	夏 目 達 也	桜 美 林 大 学
委 員	早 田 幸 政	元 中 央 大 学
委 員	堀 井 祐 介	大 阪 大 学
委 員	両 角 亜 希 子	東 京 大 学
委 員	吉 田 文	早 稲 田 大 学
委 員	原 和 世	大 学 基 準 協 会
編集幹事	工 藤 潤	大 学 基 準 協 会

(4) 単位制の今日的位相と単位制の実質化に関する調査研究部会

役 名	氏 名	所 属 名
部 会 長	金 子 元 久	筑 波 大 学
調査研究員	立 石 慎 治	筑 波 大 学
調査研究員	千 田 亮 吉	明 治 大 学
調査研究員	仲 井 邦 佳	立 命 館 大 学
調査研究員	深 堀 聰 子	九 州 大 学
調査研究員	森 俊 太	静 岡 文 化 芸 術 大 学
調査研究員	森 利 枝	大学改革支援・学位授与機構
調査研究員	松 坂 顕 範	大 学 基 準 協 会

(2024年9月30日任期終了)

(5) 質保証における学生参画のあり方に関する調査研究部会

役 名	氏 名	所 属 名
部 会 長	堀 井 祐 介	大 阪 大 学
調査研究員	川 上 忠 重	法 政 大 学
調査研究員	武 寛 子	愛 知 東 邦 大 学
調査研究員	田 中 正 弘	筑 波 大 学
調査研究員	鳥 居 朋 子	立 命 館 大 学
調査研究員	山 田 勉	名 古 屋 市 立 大 学

(2024年9月30日任期終了)

(6) 産業界及び地域社会と連携した教育等に関する調査研究部会

役 名	氏 名	所 属 名
部 会 長	山 田 礼 子	同 志 社 大 学
調査研究員	川 上 忠 重	法 政 大 学
調査研究員	白 川 優 治	千 葉 大 学
調査研究員	杉 本 義 行	成 城 大 学
調査研究員	深 澤 晶 久	実 践 女 子 大 学
調査研究員	劉 文 君	東 洋 大 学

(7) 認証評価への理解に関する調査研究部会

役 名	氏 名	所 属 名
部 会 長	早 田 幸 政	元 中 央 大 学
調査研究員	工 藤 潤	大 学 基 準 協 会
調査研究員	斎 藤 有 吾	新 潟 大 学
調査研究員	長 畑 誠	明 治 大 学
調査研究員	深 堀 聰 子	九 州 大 学
調査研究員	前 田 早 苗	大 学 基 準 協 会
調査研究員	山 極 伸 之	佛 教 大 学

20. 共同認証評価委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	容 繼 業	南 開 科 技 大 学
副委員長	木 村 彰 方	東 京 科 学 大 学 (旧 東 京 医 科 歯 科 大 学)
委 員	包 家 駒	長 庚 大 学
委 員	李 天 任	華 梵 大 学
委 員	Ratchachart Mongkolnavin	チュラロンコン大学
委 員	Wanich Uamsri	タイ教育省職業教育局
委 員	Amarsanaa Bor	モンゴル教育評価協議会
委 員	Basbayar Batmunkh	モンゴル教育評価協議会
委 員	横 山 研 治	名 古 屋 商 科 大 学

21. 広報委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	仲 谷 善 雄	立 命 館 大 学
委 員	五 十 嵐 浩 司	元 大 妻 女 子 大 学
委 員	大 村 勝 久	静 岡 県 立 浜 松 北 高 校
委 員	小 林 浩	リクルート『カレッジマネジメント』
委 員	鳥 取 部 真 己	北 九 州 市 立 大 学
委 員	堀 井 祐 介	大 阪 大 学
委 員	依 藤 康 正	関 西 大 学
委 員	工 藤 潤	大 学 基 準 協 会

22. 自己点検・評価委員会

役 名	氏 名	所 属 名
委 員 長	畑 山 浩 昭	桜 美 林 大 学
委 員	斎 藤 聖 美	ジェイ・ボンド東短証券株式会社
委 員	土 山 希 美 枝	法 政 大 学
委 員	中 村 信 次	日 本 福 祉 大 学
委 員	堀 井 祐 介	大 阪 大 学